

Reflection for Secure IT UNIX サーバは、SSH 通信を使い易く高機能化した、UNIX/Linux 環境で動作するセキュリティ製品です。転送データの暗号化と完全性保証、サーバ/ユーザ相互認証、更にはロギング機能等により、お客様データの安全な転送、重要なサーバのリモート管理、企業内アプリケーションへのセキュアなアクセスを実現します。そして、盗聴/改ざん/なりすましなどの不正行為による脅威から、企業の重要な情報とサーバ/ネットワーク環境を保護します。近年、業界等でセキュリティ諸規制順守が求められていますが、データ通信の観点からその要件を満たす信頼ある製品と言えます。

バージョン 7.2 の特長

- SUSE Linux Enterprise Server 11 に対応。
- High Performance Enabled (HPN) によりファイル転送を高速化。
- rpm パッケージファイル情報に OpenSSH パッケージを追加表示。
- 証明書管理ツールを強化。
- AIX System Resource Controller による制御。
- SUSE Linux Enterprise Server 起動スクリプトに対応。
- Solaris BSM (基本セキュリティモジュール) 監査に対応。

主な機能と仕様

安全なリモートアクセス

- リモート端末接続
- リモートコマンド実行

安全なファイル転送

- SCP および SFTP
- 特長的な機能:
 - Smart Copy (同一ファイルの重複転送処理を回避)
 - 中断点再開機能
 - 再帰的ディレクトリ転送
 - リモート=リモート間の転送 (SCP)
 - 予約拡張子の自動 ASCII モード転送 (SFTP)
- NEW** • High Performance Enabled (HPN) によりファイル転送を高速化
- chroot 環境に対応
- スケジュール指定 自動ファイル転送

アクセス制御

- 稼働サービスの指定
 - リモート端末接続
 - リモートコマンド実行
 - ファイル転送アクセス
 - SFTP 操作(参照、ダウンロード、アップロード、削除、名前の変更)
- 構成設定の指定単位(サブコンフィグによる個別指定):
 - 共通指定
 - グループ個別指定
 - ユーザ個別指定
 - クライアント個別指定(IP アドレスまたはドメイン名)

トンネリング

- TCP ポート転送 (ローカルおよびリモート)
- FTP プロトコル
- X11 プロトコル
- バックグラウンド指定およびワンショット指定 (1 回実行後切断)

標準規格

- IETF SecSH インターネット標準規格準拠 (RFC 4250 ~ 4254, 4256, 4462, 4345, 4716)

暗号ライブラリ

- 米国標準技術局(NIST)暗号モジュール認定基準 FIPS 140-2 レベル 1 取得 (証明書番号 1027)

暗号アルゴリズム

- 共通鍵暗号アルゴリズム:
 - AES (128, 192, 256 ビット CTR)
 - AES (128, 192, 256 ビット CBC)
 - 3DES (56 ビット×3EDE)
 - Blowfish (128 ビット)
 - CAST (128 ビット)
 - Arcfour (128, 256 ビット)
- 公開鍵暗号アルゴリズム:
 - RSA (生成はデフォルト2048 bit, 範囲512~32768 bit)
 - DSA (生成はデフォルト2048 bit, 範囲512~32768 bit)
- メッセージ認証コード:
 - HMAC-MD5
 - HMAC-MD5-96
 - HMAC-SHA1
 - HMAC-SHA1-96
 - HMAC-SHA256
 - HMAC-SHA512
 - RIPEMD160
- 鍵交換アルゴリズム:
 - Diffie-Hellman
 - GSS-API 鍵交換

認証

- サーバ認証:
 - 公開鍵 (RSA および DSA)
 - PKI X.509 証明書
 - Kerberos (gssapi-keyex)
- ユーザ認証:
 - パスワード認証
 - 公開鍵認証
 - RSA および DSA ユーザ鍵
 - エージェント転送
 - PKCS#11 スマートカードに対応 (Solaris 10 SPARC)
 - キーボード対話形式:
 - PAM (Pluggable Authentication Module)
 - RSA SecurID
 - RADIUS
 - パスワード
 - PKI X.509 証明書
 - Kerberos (gssapi-with-mic)
- Reflection PKI サービスマネージャ (外付けオプション):
 - 複数の Reflection for Secure IT 製品を対象に、PKI 機能の構成と管理を集中化
- NEW** • DoD PKI 認定
- FIPS 140-2 レベル 1 取得 (証明書番号 1048)
- RFC 2253, 2560, および 3280
- サーバおよびクライアント認証用の X.509 証明書 (X.509 バージョン 1 ~ 3)
- X.509 CRL (バージョン 2)
- OSCP失効確認
- NEW** • HSPD-12 に対応
- LDAP および HTTP 証明書、CRL リポジトリに対応
- 証明書拡張機能
 - CDP, IDP, AIA, ポリシー制約、基本制約、名前制約、拡張鍵の使用
- 信頼アンカー単位構成のカスタマイズ

主な機能と仕様 (続き)

- 証明書への SSH ユーザアカウント名割り当てカスタマイズ
- NEW** - SOCKS プロキシに対応
- NEW** - PKI クライアントコマンドラインユーティリティ (サービスの可用性と証明書の有効期間をクエリー)
- LDAP連携:
 - ユーザシェル指定
 - ユーザホームディレクトリ自動作成の mkhomedir PAM モジュールに対応
- その他:
 - 構成可能な事前認証済みセッションの制限

アカウントing/監査

- ログイン/ログアウトのイベント記録
- ファイル転送詳細イベントの記録(アップロード、ダウンロード、リスト表示操作を含む)
- パスワード認証リトライアウト時のイベント記録
- HP-UX SAM システム管理ツールに対応
- NEW** • Sun Solaris BSM監査に対応
- Sun Solaris 最小特権モデルに対応
- NEW** • AIX System Resource Controller に対応

パフォーマンス

- NEW** • High Performance Enabled (HPN) に対応し、ファイル転送スループットを改善
- NEW** • 圧縮レベルの調整により、スループットをチューニング向上

オペレーティングシステム

- HP-UX 11i v2 (PA-RISC)
- HP-UX 11i v2 (Itanium)
- HP-UX 11i v3 (Itanium)
- IBM AIX 5.2 (POWER)
- IBM AIX 5.3 (POWER)
- IBM AIX 6.1 (POWER)
- Red Hat Enterprise Linux 4 (Itanium)*
- Red Hat Enterprise Linux 4 (x86)*
- Red Hat Enterprise Linux 4 (x86-64)*
- Red Hat Enterprise Linux 5 (Itanium)*
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86)*
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86-64)*
- Sun Solaris 8 (SPARC)*
- Sun Solaris 9 (SPARC)*
- Sun Solaris 10 (SPARC)*
- Sun Solaris 10 (x86)*
- Sun Solaris 10 (x86-64)*
- SUSE Linux Enterprise Server 9 (Itanium)*
- SUSE Linux Enterprise Server 9 (x86)*
- SUSE Linux Enterprise Server 9 (x86-64)*

- SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86)*
- SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86-64)*
- NEW** • SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86)*
- NEW** • SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86-64)*
- zLinux: Red Hat Enterprise Linux 4 (64 ビット)*
- zLinux: SUSE Linux Enterprise Server 9 (32 ビット)*

* インストール先ディレクトリを指定可 (Solaris および Linux)

システム要件

- UNIX/Linux オペレーティングシステムの最低限の要件を満たすシステム
- すべての Itanium システムで、libunwind ライブラリが必須 (HP-UX、Red Hat Enterprise Linux、および SUSE Linux Enterprise Server)
- IBM AIX 5.3 Maintenance Level 5300-5
- Sun Solaris UltraSPARC CPU

Attachmate社について

Attachmate社は、企業のIT投資の拡大、管理、セキュリティ保護のお手伝いをいたします。当社は、端末エミュレーション、ホストシステムとの統合、セキュアな管理されたファイル転送、および企業内の不正行為監視ツール等 先進ソフトウェアとソリューションを提供しております。世界中で 65,000 社を超える顧客企業が、Attachmateの技術によりIT資産の新たな有効活用をはかっています。詳細については、www.attachmate.jp をご覧ください。



日本支社
 NetIQ 株式会社 Attachmate 事業部
 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町1-1
 住友市ヶ谷ビル 9階
 TEL 03-3513-5111 FAX 03-3513-5112
 E-mail j-info@attachmate.com
 URL www.attachmate.jp

米国本社
 1500 Dexter Avenue North
 Seattle, WA 98109 USA
 TEL +1 206-217-7500
 FAX +1 206-217-7515
 URL www.attachmate.com

*NetIQ 株式会社は米国 Attachmate Corporation の 100% 子会社です。